



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO

(氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO

(氏名) 男澤 一郎

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	151,546	19.2	19,081	27.1	18,707	24.1	11,816	26.5
26年3月期第3四半期	127,152	29.6	15,013	17.3	15,075	19.2	9,338	34.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 14,992百万円 (27.2%) 26年3月期第3四半期 11,784百万円 (52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	129.75	129.36
26年3月期第3四半期	103.08	102.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	177,860	128,963	72.1
26年3月期	163,201	116,577	71.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 128,237百万円 26年3月期 115,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	16.68	—	15.48	32.16
27年3月期	—	20.94	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	16.90	37.84

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	200,700	15.4	23,300	22.7	22,900	19.5	13,800	18.2	151.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	91,262,184 株	26年3月期	90,983,484 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	42,239 株	26年3月期	41,945 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	91,072,671 株	26年3月期3Q	90,597,303 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う需要の反動減やそれに伴う生産の弱含み傾向は下げ止まりを見せつつあるものの、個人消費は依然として弱さが見られ、足元の景況感の停滞により、消費増税が延期されるに至りました。世界経済は、米国では回復基調が継続しているものの、欧州ではギリシャ等の政府債務問題や物価下落の顕在化などの懸念材料が増加しており、中国やアセアン地域においても中期的な減速局面に移行しつつあります。

このような環境において当社グループは、高品質・低価格・短納期を追求するとともに高い納期遵守率を維持しつつ業績の拡大に取り組んでいます。さらに、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるなど、価格だけでなく利便性の向上にも取り組んでいます。国際市場では、大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズに対応すると同時に、最適調達を目的とした現地生産や現地調達の取り組みも着実に実を結んでおります。国内では、自動車やスマートフォン関連などの需要増を取り込んだことにより、FA事業を中心として売上が大幅に伸長し、連結売上高全体の増加を牽引しました。

この結果、連結売上高は1,515億4千6百万円、対前年同期比で243億9千3百万円(19.2%)の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は190億8千1百万円、対前年同期比40億6千7百万円(27.1%)の増益、経常利益は187億7百万円、対前年同期比で36億3千2百万円(24.1%)の増益、四半期純利益は118億1千6百万円、対前年同期比で24億7千8百万円(26.5%)の増益となりました。

・報告セグメントの業績

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

①FA事業

FA事業においては、主要顧客層である自動車業界と液晶・半導体などのエレクトロニクス関連業界の需要が堅調に推移しました。そのような状況下、国際市場においてミスミモデルを浸透させることによる顧客数の拡大などにより、売上高は728億4千8百万円となり、前年同期比では128億2千万円(21.4%)の増収となりました。営業利益は135億9千9百万円となり、前年同期比では35億8千8百万円(35.8%)の増益となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界が底堅く推移したことにより、売上高は474億9千万円となり、前年同期比では58億4百万円(13.9%)の増収となりました。営業利益は34億1千7百万円となり、前年同期比では9億9千4百万円(41.1%)の増益となりました。

③VONA事業

VONA事業は、FA事業や金型部品事業で行っているミスミオリジナル商品の販売ではなく、他社ブランドの販売も含めた新たな流通事業として取り組んでいる事業です。非効率・高コストの流通プロセスを独自のモデルで変革し、強力な基幹システムとウェブで顧客の利便性を向上することにより、流通モデルの変革を起こすことを狙っております。取り扱いメーカー数を平成25年4月時点の約300社から平成26年9月時点で6倍以上の1,800社超まで拡大させ、生産間接資材分野で最大の品揃えを実現しました。これに伴い着実に顧客数を伸ばすことで、売上高は346億7千万円となり、前年同期比では69億5千5百万円(25.1%)の増収となりました。一方、営業利益は積極成長戦略に伴う先行経費負担等により28億8千4百万円となり、前年同期比では3億5千8百万円(△11.0%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ146億5千8百万円増加し、1,778億6千万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が10億6千2百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が60億3千6百万円増加したこと、商品及び製品が33億8千8百万円増加したこと、その他流動資産が37億6千1百万円増加したことなどにより流動資産が141億9千2百万円増加したこと、有形固定資産が29億3千8百万円増加したこと、無形固定資産が14億3千5百万円減少したこと、及び投資有価証券等の投資その他の資産が10億3千6百万円減少したこととあります。

総負債は前連結会計年度末に比べ22億7千1百万円増加し、488億9千6百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が15億3千7百万円増加したこと、賞与引当金が11億5千2百万円減少したことなどにより流動負債が2億6千万円増加したこと、固定負債が20億1千1百万円増加したこととあります。

純資産は前連結会計年度末に比べ123億8千6百万円増加し、1,289億6千3百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が84億6千7百万円増加したことなどにより株主資本が91億1千6百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が31億5千4百万円増加したこととあります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.1%から72.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成26年10月29日に公表いたしました連結業績予想から修正はおこなっておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債及び利益剰余金への影響は、軽微であります。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,951	50,014
受取手形及び売掛金	35,373	41,409
有価証券	2,303	1,606
商品及び製品	16,771	20,159
仕掛品	1,554	1,795
原材料及び貯蔵品	4,190	4,601
その他	5,029	8,790
貸倒引当金	△201	△213
流動資産合計	113,972	128,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,285	10,054
機械装置及び運搬具（純額）	6,772	9,696
土地	3,837	3,845
その他（純額）	4,829	3,067
有形固定資産合計	23,725	26,663
無形固定資産		
ソフトウェア	4,352	4,075
のれん	6,341	5,303
その他	10,089	9,969
無形固定資産合計	20,784	19,348
投資その他の資産		
投資有価証券	1,750	149
その他	3,069	3,637
貸倒引当金	△99	△103
投資その他の資産合計	4,719	3,682
固定資産合計	49,229	49,695
資産合計	163,201	177,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,485	12,023
短期借入金	900	900
未払法人税等	3,682	3,179
賞与引当金	2,770	1,618
役員賞与引当金	449	180
その他	10,380	11,028
流動負債合計	28,669	28,929
固定負債		
新株予約権付社債	10,292	12,055
役員退職慰労引当金	1,082	—
退職給付に係る負債	3,096	3,438
その他	3,483	4,472
固定負債合計	17,954	19,966
負債合計	46,624	48,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,375	6,700
資本剰余金	16,763	17,089
利益剰余金	90,004	98,472
自己株式	△71	△72
株主資本合計	113,072	122,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	9
為替換算調整勘定	2,938	6,090
退職給付に係る調整累計額	△55	△51
その他の包括利益累計額合計	2,893	6,048
新株予約権	271	253
少数株主持分	339	472
純資産合計	116,577	128,963
負債純資産合計	163,201	177,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	127,152	151,546
売上原価	72,731	86,967
売上総利益	54,420	64,578
販売費及び一般管理費	39,407	45,497
営業利益	15,013	19,081
営業外収益		
受取利息	152	187
補助金収入	93	—
雑収入	123	142
営業外収益合計	369	330
営業外費用		
売上割引	38	45
為替差損	228	98
経営者育成振興寄付金	—	500
雑損失	40	59
営業外費用合計	306	704
経常利益	15,075	18,707
特別利益		
関係会社清算益	99	—
特別利益合計	99	—
税金等調整前四半期純利益	15,174	18,707
法人税等	5,820	6,876
少数株主損益調整前四半期純利益	9,354	11,831
少数株主利益	15	14
四半期純利益	9,338	11,816

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,354	11,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△1
為替換算調整勘定	2,437	3,157
退職給付に係る調整額	—	4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	2,430	3,160
四半期包括利益	11,784	14,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,775	14,971
少数株主に係る四半期包括利益	8	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,027	41,686	27,715	129,429	△2,276	127,152
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	60,027	41,686	27,715	129,429	△2,276	127,152
セグメント利益	10,010	2,422	3,242	15,675	△662	15,013

のれん等償却前セグメント利益	10,010	3,975	3,242	17,228	△662	16,566
----------------	--------	-------	-------	--------	------	--------

※(参考情報)

セグメント利益にDayton Lamina Corporation買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却費を加算した利益

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	129,429
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△2,207
その他の調整額	△69
四半期連結損益計算書の売上高	127,152

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,675
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△376
その他の調整額	△286
四半期連結損益計算書の営業利益	15,013

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	72,848	47,490	34,670	155,009	△3,463	151,546
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	72,848	47,490	34,670	155,009	△3,463	151,546
セグメント利益	13,599	3,417	2,884	19,901	△819	19,081
のれん等償却前セグメント利益	13,599	5,052	2,884	21,536	△819	20,716

※(参考情報)

セグメント利益にDayton Lamina Corporation買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却費を加算した利益

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	155,009
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△3,454
その他の調整額	△9
四半期連結損益計算書の売上高	151,546

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,901
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△577
その他の調整額	△242
四半期連結損益計算書の営業利益	19,081

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より「自動化事業」の一部を移管し、「エレクトロニクス事業」、「その他事業」と統合し、「VONA事業」としております。また従来の「自動化事業」の名称を「FA事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しております。

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
70,044	16,184	16,377	16,431	6,329	1,785	127,152

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,323	3,237	4,252	2,055	1,462	21,331

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第3四半期 連結累計期間償却額	1,128
当第3四半期末残高	6,307

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
81,843	22,068	19,422	17,481	7,977	2,753	151,546

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,207	7,801	4,585	2,469	1,600	26,663

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第3四半期 連結累計期間償却額	1,222
当第3四半期末残高	5,303